

2026 JGA ゴルフルールテスト
練習問題

テスト時間 60 分

1 問 1 点 100 点満点

合格点：80 点

設問の条件

別途記述がなければ設問は下記を前提とする。

- 個人ストロークプレーとする。
- 「重大な違反」はない。
- ローカルルールは制定されていない。
- LMR＝ゴルフ規則のオフィシャルガイドの「ローカルルールひな型」

※練習問題に関するご質問等は受けつけていませんので、あらかじめご了承ください。

1. パットした球がホールからせり出した状態となった。この場合、適用する規則はどれか。
 - ① 12.1
 - ② 13.3
 - ③ 14.1
 - ④ 15.2

2. バンカー内の一時的な水の中に球があるため、罰なしの救済を受ける場合、適用する規則はどれか。
 - ① 15.1
 - ② 15.2
 - ③ 16.1
 - ④ 16.2

3. 参加資格がないプレーヤーが競技に参加していた場合、適用する規則はどれか。
 - ① 1.1
 - ② 1.2
 - ③ 20.1
 - ④ 20.2

4. ラウンド中、腰痛防止のコルセットを着けてプレーした場合、適用する規則はどれか。
 - ① 4.1
 - ② 4.2
 - ③ 4.3
 - ④ 20.1

5. プレーヤーAがプレーヤーBのプレーの線上にある木の枝を故意に折った。この場合、プレーヤーAに適用される規則はどれか。
 - ① 1.3
 - ② 1.4
 - ③ 8.2
 - ④ 8.3

6. パッティンググリーン上の球をキャディーがプレーヤーの承認なしにマークして拾い上げた。この場合、適用する規則はどれか。
 - ① 13.1
 - ② 13.2
 - ③ 14.1
 - ④ 14.2

7. 球の確認方法について規定している規則はどれか。
- ① 1.4
 - ② 3.2
 - ③ 4.2
 - ④ 7.2
8. ラウンド中、肉眼では見ることが合理的ではない程度、球が動いていたことがビデオ映像によって発覚した場合、適用する規則はどれか。
- ① 1,2
 - ② 4.2
 - ③ 20.2
 - ④ 21.2
9. バンカー内の球をプレーする前に、偶然、クラブが球の直後の砂に触れた。この場合、適用する規則はどれか。
- ① 12.1
 - ② 12.2
 - ③ 12.3
 - ④ 12.4
10. マッチプレーのスタートホールで、両者がともに遅刻した場合、適用する規則はどれか。
- ① 1.2
 - ② 1.3
 - ③ 3.2
 - ④ 5.3
11. 競技終了後、自分の成績が間違っ表記されていたことに気づいたが、真実の順位より良かったため、故意に委員会に報告をしなかった。この場合、適用する規則はどれか。
- ① 1.3
 - ② 3.2
 - ③ 3.3
 - ④ ①～③に正解はない。
12. 球がペナルティーエリアの中のマンホールの上に止まっている場合、適用できる規則はどれか。
- ① 15.1
 - ② 16.1
 - ③ 17.1
 - ④ ①～③に正解はない。

13. アウトオブバウンズに止まっている自分の球をインバウンズの球だと思ってプレーした。この場合、適用する規則はどれか。
- ① 6.3
 - ② 14.7
 - ③ 18.2
 - ④ ①～③に正解はない。
14. ティーイングエリア内でティーから落ちつつある球をストロークした。この場合、適用する規則はどれか。
- ① 6.1
 - ② 10.1
 - ③ 15.1
 - ④ ①～③に正解はない。
15. 球がジェネラルエリアにある切り株の割れ目に入りプレーすることができない場合、適用できる規則はどれか。
- ① 15.2
 - ② 16.2
 - ③ 19.2
 - ④ ①～③に正解はない。
16. プレーヤーが不当にプレーを遅らせた場合、適用する規則はどれか。
- ① 5.5
 - ② 5.6
 - ③ 5.7
 - ④ ①～③に正解はない。
17. 動かさない障害物から罰なしの救済を受けて止まっていた球が、風により動き出し、アウトオブバウンズに出てしまった場合、適用する規則はどれか。
- ① 9.2
 - ② 14.2
 - ③ 14.3
 - ④ ①～③に正解はない。

18. アンプレヤブルの球の救済を受けるとき、プレーヤーは誤所にドロップしてしまった。この場合、適用する規則はどれか。
- ① 14.2
 - ② 14.5
 - ③ 14.7
 - ④ ①～③に正解はない。
19. フェアウェイからの2打目が林の中に入った。プレーヤーはその林の中で球が見つかっていてもプレーできないと考え、「紛失にします」と言って別の球を直前にストロークした箇所の直後にドロップした。その後で、球の搜索時間が経過する前に元の球が林の中で見つかった。この場合、適用する規則はどれか。
- ① 6.3
 - ② 14.7
 - ③ 18.2
 - ④ ①～③に正解はない。
20. 男子と女子で異なるティーイングエリアを使うミックスフォーサムで男子が男子用のティーからプレーしアウトオブバウンズとなった。女子が次のストロークを男子用のティーからプレーした場合、適用する規則はどれか。
- ① 21.3
 - ② 22.3
 - ③ 23.4
 - ④ ①～③に正解はない。
21. ペナルティーエリアは4つの定義されたコースエリアの1つである。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
22. 規則に基づいて元の球をリプレイスすることを要求されていたのに、別の球をリプレイスした。この時点で、この別の球はインプレーの球となる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
23. ティーは人工物でなければならない。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。

24. 規則が「球をプレーすること」に言及する場合、その意味にはドロップして球をインプレーにすることを含む。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
25. アウトオブバウンズの境界線がフェンスで定められる場合、その境界線はフェンスポスト(支柱を含む)のコース側を地表レベルで結んだ線で定められる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
26. 球が木の枝に挟まっていた。その木の枝がプレーヤーの体に当たって動いた場合、球は動かされたものとして扱われる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
27. 不可分な物の一部が動かせる障害物の定義に合致していたとしても、その部分は不可分な物として扱われる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
28. 完全な救済のニヤレストポイントを決定するために使用するクラブはそのプレーヤーが持ち運んでいるクラブでパター以外の最も長いクラブである。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
29. アンプレヤブルの球の罰あり救済の選択肢の一つである後方線上の救済の基点は、ドロップされた球が規則の定める基準線上に落ちた箇所である。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
30. 規則に基づいて再プレーを要求されているのに、再プレーをせずに球が止まった箇所からプレーした場合、誤所からプレーしたことにはならない。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。

31. 委員会はどのような理由でもプレー禁止区域を採用することができる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
32. 委員会がコース内の池に対してペナルティーエリアの縁を定めていなかった場合、その縁は水際となる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
33. ホールの直径は 4.25 インチでなければならない。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
34. 委員会がマーカーを決定せずに、プレーヤーが自分でマーカーを選択する方法を指示することができる。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
35. 露、霜、水はいずれもルースインペディメントではない。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
36. ペナルティーエリアの縁は地面から上方にも下方にも及ぶ。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
37. 扇風機によって発生した風は外的影響である。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
38. キャディが手に持っているバンカーレーキは「用具」ではない。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
39. ボールマーカーは人工物でなければならない。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。

40. ルースインペディメントは球のライの一部である。
- ① 正しい。
 - ② 誤り。
41. プレーヤーが搜索中、ラフにある球を偶然に蹴ってしまった。プレーヤーは球を拾い上げて、ふいてから元の箇所に戻してプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
42. プレーヤーはパッティンググリーン上で自分の球をマークして拾い上げ、別の球を戻してプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
43. プレーヤーはラウンド中に 3 番アイアンのライ角を故意に変えたが、その後で、そのクラブを使用することなくラウンドを終了した。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 失格
 - ④ 罰なし
44. バンカー内の球をプレーする前に、2 回素振りをしたところ、その 2 回ともクラブヘッドがバンカーの砂に触れた。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 4 罰打
 - ④ 罰なし

45. ティーショット球 A が逆光でどこに行ったのが見えなかったので暫定球 B をプレーした。その後、球 A はペナルティーエリアの中の木の上に止まっていることが分かった。プレーヤーはアンプレヤブルの救済を受け、球 C を木の真下の地点から 2 クラブレンジス以内のペナルティーエリア内にドロップしてプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 4 罰打
46. 第 2 打地点でプレーヤー A がプレーする順番だったが、プレーヤー B が有利になるように打順を変えてプレーすることに合意した。しかし、どちらかがストロークをする前に、やはり A から先にプレーすることにし、A がプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 失格
 - ④ 罰なし
47. ラフの中にある球をプレーしようとした所、クラブヘッドが球に偶然触れて、球が真下に移動した。プレーヤーはその球をプレーした。この場合の罰は？
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
48. プレーヤーはペナルティーエリアからの救済を受けるためにそのペナルティーエリアの後方にドロップしてプレーしたが、誤所からプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 4 罰打
49. バンカー内の球をプレーする前に、使用しないクラブをそのバンカー内に置いた。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし

50. パッティンググリーン外からプレーするときに、プレーの線上のパッティンググリーン上にあるボールマークを修復した。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
51. 短いパットをするときに、片手で傘をさし、もう片方の手で球をかき寄せてホールに入れた。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 4 罰打
52. ジェネラルエリアに球があり、動かさない障害物からの救済を受けるときに、拾い上げた球を別の球に取り替えてからドロップしてプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
53. マッチプレーで、短いパットが残り、相手から「OK」と言われ、次のストロークをコンシードされた後に、その残りのパットをストロークした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② そのホールの負け
 - ③ 2 罰打
 - ④ 罰なし
54. バンカー内の球の直後に小石があったので、この小石を取り除いてからプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし

55. プレーヤーは規則に基づいて罰なしの救済を受けたが、誤所にドロップした。その球をそのままプレーしようとしたところ、クラブヘッドが球に触れて、球が動いた。その後で、プレーヤーは誤所にドロップしていたことに気づき、訂正するためにその球をマークせずに拾い上げた。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
56. 第 1 打となるティーショットが前方の木に当たって跳ね返り、ティーイングエリア内に止まった。プレーヤーはその球を拾い上げ、そのティーイングエリア内にティーアップしてプレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
57. マッチプレーで、2 番ホールを終えてプレーヤー A は 2 アップだった。3 番ホールをプレーする前に相手 B がスタートから 15 本のクラブを持っていることが発覚した。この場合、2 番ホールを終えてのマッチの状態として正しいのはどれか。
- ① B は失格となる。
 - ② A の 2 アップ。
 - ③ A の 3 アップ。
 - ④ A の 4 アップ。
58. ティーショットをプレーする前にプレーヤーがティーマーカーに偶然つまずき、ティーマーカーを動かしてしまった。プレーヤーはそのティーマーカーを元に戻さずに、ティーイングエリア内からティーショットをした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 失格
 - ④ 罰なし

59. パッティンググリーン上で、グリーンの傾斜を読んでいるときに、うっかり、プレーの線上を歩き、その線上を悪化させたので、プレーヤーは元の状態に復元をしてからパットをした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 罰なし
60. プレーヤーは第 2 打をプレーする前に、コースの風速を機器を使って計測し、その直後、練習器具で素振りをした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 4 罰打
 - ④ 失格
61. プレーヤーはティーショットの第 1 打として球 A をプレーしたが林の中に入った。プレーヤーは球 A を 2 分探したところで、「暫定球をプレーしにティーに戻る」と言って、ティーイングエリアに戻っていった。この場合、正しいのはどれか。
- ① 他の誰かが球の搜索を続けていなければ、球の搜索時間は 2 分で中断されている。
 - ② 元の球を捜し始めたので、その後で暫定球をプレーすることはできない。
 - ③ 「暫定球をプレーしにティーに戻る」と宣言した時点で球 A は紛失となる。
 - ④ ①～③に正解はない。
62. プレーヤーの球が、切断作業中の切り株の中に止まった。プレーヤーはアンプレヤブルの罰あり救済の処置をとることにし、その球をマークせずに拾い上げた。この場合、正しいのはどれか。
- ① 罰なしに規則 16.1 に基づいて罰なしの救済を受けることに変更することができる。
 - ② プレーヤーがアンプレヤブルの救済を受けないことにした場合、球をマークしなかったことに対して合計で 2 罰打を受ける。
 - ③ プレーヤーは規則 16.1 に基づいて罰なしの救済を受けることができるが、アンプレヤブルの救済の 1 罰打は追加される。
 - ④ ①～③に正解はない。

63. コース内の環境保護区がプレー禁止区域(異常なコース状態)として定められていた。プレーヤーの第1打(ティーショット)がその環境保護区から突き出している生長物の上に止まった。プレーヤーは球をあるがままにプレーしたところ、球は少ししか飛ばず、その環境保護区の中に止まった。プレーヤーはその球をあるがままにプレーし、球はようやくパッティンググリーンにのった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは訂正のプレーをしなければ失格となる。
 - ② プレーヤーの次打は8打目となる。
 - ③ プレーヤーが受ける罰の合計は介在する出来事がなかったので2罰打となる。
 - ④ ①～③に正解はない。
64. ティーショットがジェネラルエリアで観客によって故意に方向を変えられ、ブッシュの中に入り見つからない。この場合、正しいのはどれか。
- ① 球を3分の搜索時間内に見つけることができなければ、紛失したものと扱われる。
 - ② プレーヤーは規則11.2に基づいて処置しなければならない。
 - ③ プレーヤーは罰なしに再プレーをしなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。
65. マッチプレーで、プレーヤーAは処置について疑問があるため、元の球と、救済を受けた別の球の2つの球をプレーしてそのホールを終えた。そのことについて相手Bが時限内に委員会に裁定を要請した場合、正しいのはどれか。
- ① 相手Bが「そのようなことは認められない」とAに指摘した場合、Aは失格となる。
 - ② そのホールはAの負けとなる。
 - ③ 相手Bが、Aが2つの球をプレーしたことに反対しなかった場合、元の球でのスコアが採用される。
 - ④ ①～③に正解はない。
66. 2人のうち優勝を決めるプレーオフの前に、コーチからビデオを見せられスイングを確認し、ドライバーとパターを別のものに取り変えた。そしてプレーオフが開始されたが、第1打がアウトオブバウンズとなり、打ち直しもアウトオブバウンズになってしまった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは規則4に違反し、失格となる。
 - ② このケースにはアドバイスの違反が発生している。
 - ③ プレーオフをさらにプレーせずに相手に勝ちを譲ることができる。
 - ④ ①～③に正解はない。

67. プレーヤーAの球とプレーヤーBの球がフェアウェイで近接して止まっていた。プレーの打順はAだった。Bは自分の球がAのプレーの邪魔になると考え、Aがその地点にくる前に球をマークして拾い上げ、その球をポケットの中に入れた。この場合、正しいのはどれか。
- ① Bは球をふいたとみなされ、1罰打を受ける。
 - ② Bには規則9.4が適用となる。
 - ③ Bに罰はない。
 - ④ ①～③に正解はない。
68. ティーショット(球A)がペナルティーエリアの方向に飛んだがどこに止まったのか分からなかった。暫定球Bをプレーし、暫定球Bはフェアウェイに止まった。球Aはペナルティーエリアの中で見つかった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは球Bで次のプレーを続けなければならない。
 - ② プレーヤーは球Bで次のプレーを続けることができる。
 - ③ 球Aは紛失ではないが、もはやインプレーの球ではない。
 - ④ ①～③に正解はない。
69. ラウンド中、怒ってパターを地面に叩きつけたところ、ネックが曲がってしまった。この場合、正しいのはどれか。
- ① クラブを乱暴に扱った結果なので、そのラウンドの残りでそのパターを使用することはできない。
 - ② クラブを修理することができるが、取り替えることはできない。
 - ③ クラブを取り替えることはできるが、修理することはできない。
 - ④ ①～③に正解はない。
70. 球が臨時の動かせない障害物(TIO)の中に止まった。プレーヤーはその場所からグリーンを狙うことはできず、チップショットでフェアウェイの方向に球を出すしかない状況だった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーに罰なしの救済はない。
 - ② プレーヤーは規則16.1と同じ罰なしの救済を受けることができる。
 - ③ この球は介在の障害は生じていないが、物理的な障害が生じている。
 - ④ ①～③に正解はない。
71. ティーショットした球がラフにくいこんだかも知れなかった。この場合、正しいのはどれか。
- ① ラフの地面にくい込んだ場合、罰なしの救済はない。
 - ② 罰なしの救済が認められる場合、球をふくことはできない。
 - ③ 罰なしの救済が認められる場合の基点は、くいこんだ球の直後の地点である。
 - ④ ①～③に正解はない。

72. 1 打目となるティーショットの球 A がアウトオブバウンズの方に飛んだので、暫定球 B をプレーした。第 2 打地点に行ってみると、球 A と球 B の両方が見つかったが、どちらが球 A なのか識別がつかなかった。この場合、正しいのはどれか。
- ① 両方の球がインバウンズで見つかった場合、次にプレーする球は球 A となる。
 - ② 1 つの球がインバウンズ、もう一つの球がアウトオブバウンズであった場合、次にプレーする球は球 A となる。
 - ③ 規則に基づく次打は 4 打目となる。
 - ④ ①～③に正解はない。
73. プレーの線上にギャラリー整理用のロープと杭があり、簡単に動かせるのでその杭を取り除いたところ、他の杭が連動して倒れてプレーヤーの球に当たり、球が動いた。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは 1 罰打を受け、その球をリプレイスしなければならない。
 - ② プレーヤーは規則 8 に違反したことになる。
 - ③ プレーヤーは罰なしに球をあるがままにプレーしなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。
74. マッチプレーの 5 番ホールの第 2 打地点で、プレーヤー A はバンカーからプレーする際、偶然にクラブヘッドで球の直後の砂に触れてしまった。相手 B はそのことを見ていたが、A に「その違反について私は何も行動しないよ」と伝えた。そのホールは A の勝ちとなった。この場合、正しいのはどれか。
- ① B は失格となる。
 - ② A と B は失格となる。
 - ③ B が A の違反に対して行動しないという決定をもはや変えることはできない。
 - ④ ①～③に正解はない。
75. 規則に基づいて救済エリア内にドロップした球が救済エリアの外に止まった。この場合、正しいのはどれか。
- ① 再ドロップしなければならないが、球を取り替えることはできない。
 - ② 再ドロップしても球が救済エリアの外に出た場合、その球をリプレイスしなければならない。
 - ③ 規則に基づいてプレイスしても球が止まらない場合、その救済エリア内で球が止まる最も近い箇所に球をプレイスしなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。

76. バンカー内の砂に埋まっている球をプレーしようとしたところ、日没のために委員会からプレー中断の合図があった。再開は翌日の 8 時 00 分となった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは直ちに中断するか、そのホールのプレーを終えるのかを決定するために 5 分の時間が認められる。
 - ② プレーヤーが委員会による再開の合図が鳴る前の 7 時 59 分に第 2 打をプレーしてしまった場合、失格となる。
 - ③ 中断したときに球を拾い上げており、リプレイスするときには朝の管理作業によってきれいに砂が均されていた場合、球を元の状態と同じくいいこんだ状態でプレイスしなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。
77. フェアウェイに止まっている球がカラスによって持ち去られた。球が止まっていた元の箇所が不明だったのでプレーヤーはその箇所を推定し、1 クラブレンジス以内でホールに近づかない所に別の球をドロップしてプレーした。誤所からのプレーの違反がなかった場合、正しいのはどれか。
- ① 規則 9.6 と規則 14.3 が適用となる。
 - ② プレーヤーは 2 罰打を受ける。
 - ③ プレーヤーは誤球のプレーをしたことになる。
 - ④ ①～③に正解はない。
78. ラウンド中、フェアウェイの芝の上に止まっている球を観客が蹴飛ばしてしまった。そして球の止まっているライが削られて悪化した。この場合、正しいのはどれか。
- ① 元のライを出来る限り復元することができる。
 - ② 元のライを出来る限り復元しなければならない。
 - ③ 元の箇所から 1 クラブレンジス以内でホールに近づかない箇所に球をドロップしなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。
79. プレーの中断中、雨が小雨になり、落雷の危険もなかったため、練習をすることにした。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレー再開の合図があるまでは競技が行われるコース上で練習することはできない。
 - ② 再開が 5 番ホールのティーショットからになる場合、4 番ホールのパッティンググリーン上でパッティングの練習をすることができる。
 - ③ コース外の民間のドライビングレンジで練習することはできない。
 - ④ ①～③に正解はない。

80. グリーンリーディングブックの使用について、正しいのはどれか。
- ① ローカルルールで禁止されていなければ、どのような資料であっても使用することができる。
 - ② 規則に不適合のグリーンリーディングブックを持ってスタートした場合、違反のあったホールに2罰打を受ける。
 - ③ グリーンリーディングブックにメモを書き込むことができるのは、プレーヤーとそのキャディーだけである。
 - ④ ①～③に正解はない。
81. プレーヤーは木の上にある球を見つけたが、その球が自分のものであるかは確認できなかった。プレーヤーはアンプレヤブルの救済処置をとることには何も言及せず、木に登って球を確認しようとしたところ、偶然にその球を木から落としてしまった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは罰はない。
 - ② プレーヤーは合計で2罰打を加え、アンプレヤブルの救済処置をとらなければならない。
 - ③ 規則7.4は適用とはならない。
 - ④ ①～③に正解はない。
82. パッティンググリーン上からストロークした球が偶然に当たっても罰なしに再プレーをしなければならないのは次のうちどれか。
- ① そのプレーヤー
 - ② 動いている他の球
 - ③ ミミズ
 - ④ ①～③に正解はない。
83. 球をドロップする前に、ドロップした球が止まるように故意に自分のクラブを地面に置いた。球をドロップした後、球はそのクラブに当たらずに、救済エリア内に止まった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは罰なしに、球を再ドロップしなければならない。
 - ② プレーヤーは2罰打を受け、球をあるがままにプレーしなければならない。
 - ③ プレーヤーは1罰打を受け、最初からドロップをやり直さなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。

84. パー3 の第1 打球A が曲がり、アウトオブバウンズとなったと決めつけて、打ち直しのためにティーイングエリア内に別の球B をドロップした。球B をプレーする直前に、球A がインバウンズにあることを先行組が教えてくれた。球の搜索の3 分がまだ経過していなかった場合、正しいのはどれか。
- ① 球A をプレーした場合、誤球のプレーとなる。
 - ② 球A をプレーした場合、3 打目としてインプレーの球となる。
 - ③ 球B をプレーした場合、誤球のプレーとなる。
 - ④ ①～③に正解はない。
85. ティーショット球A がアウトオブバウンズのおそれがあったので、「念のため、もう1 球プレーしておく」とマーカーに告げてから球B をプレーした。第2 打地点に行き、球A がインバウンズにあると言われたので、球B を拾い上げてから見つかった球をプレーしたが、それは球A ではなく、遺棄されていた球C だった。球A を搜索時間内に見つけられなかった場合、正しいのはどれか。
- ① 規則に基づく次打は7 打目となる。
 - ② プレーヤーは規則9.4 の違反はしていない。
 - ③ 規則に基づく次打は8 打目となる。
 - ④ ①～③に正解はない。
86. 球が人工的に砂利でおおわれている道路の上に止まった。この場合、正しいのはどれか。
- ① あるがままにプレーすることができるが、砂利を取り除いてはならない。
 - ② 砂利を取り除くことはできるが、球のライを改善した場合、規則8 が適用となる。
 - ③ 砂利は球のライの一部ではない。
 - ④ ①～③に正解はない。
87. 6 番ホールで、プレーヤーA はプレーヤーB に「球がカート道路に跳ねたので傷がついているかもしれない」と伝え、球をマークして拾い上げた。球にはこすり傷があったが、切れてはいなかった。B はA に「その損傷であれば、球を取り替えることができるよ」と言ったのでA は別の球をリプレースしてプレーした。この場合、正しいのはどれか。
- ① B は2 罰打を受ける。
 - ② A は2 罰打を受ける。
 - ③ A は1 罰打を受ける。
 - ④ ①～③に正解はない。

88. プレーヤーの球は全体が修理地となっているバンカーの中に止まった。プレーヤーはバンカー内の修理地からの救済を受けることができると考え、規則 16.1c の 1 罰打の救済をすることにし、そのバンカーの後方線上 20 ヤードの箇所に救済を受けて別の球をドロップしてプレーした。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは取り替えた球の違反の罰を受ける。
 - ② プレーヤーは誤球をプレーしたことになる。
 - ③ プレーヤーは 2 罰打を受ける。
 - ④ ①～③に正解はない。
89. マッチプレーで、プレーヤーA は相手 B に「今何打目を打ったの?」と聞いたところ、B は「4 打目です」と回答したが、すぐにそれが誤りで本当は 5 打目であったことに気づいた。この場合、正しいのはどれか。
- ① B は合理的にできる限り速やかに A に正しいストローク数を伝えなければならない。この場合の「合理的」とは必ずしも A が次のストロークを行う前ではない。
 - ② A が次のストロークを行う前に正しいストローク数を教えなければならない。
 - ③ B は誤ったストロークを教えた時点で失格となる。
 - ④ ①～③に正解はない。
90. マッチプレーで、プレーヤーA は誤ってティーイングエリア外から不適合クラブでティーショットをしてしまった。相手 B が「そのストロークを取り消して再プレーして」と言ったので、A はティーイングエリア内から適合クラブでプレーすることにした。この場合、正しいのはどれか。
- ① A は不適合クラブでプレーした時点で失格となっている。
 - ② A の次打は 1 打目である。
 - ③ A と B は規則を無視することに合意したので、失格となる。
 - ④ ①～③に正解はない。
91. フェアウェイからのプレーヤーの第 2 打は林の方に飛んだ。プレーヤーは今作ったディボット跡にディボットを戻し足で平らになるように踏みつけた。その後で、第 2 打がアウトオブバウンズとなっていることが分かった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーは規則 8.1 に違反したことになる。
 - ② プレーヤーの次打は 4 打目となる。
 - ③ プレーヤーは打ち直しの球をそのディボットの上でホールに近づかない箇所にドロップしなければならない。
 - ④ ①～③に正解はない。

92. カート道路からの救済を受けて救済エリアに止まっていた球が、風によって動き、近くのアウトオブバウンズの中に入ってしまった。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーはアウトオブバウンズの救済処置をとらなければならない。
 - ② プレーヤーは球を元の箇所にプレースしなければならない。
 - ③ プレーヤーは救済エリアに球を再ドロップしなければならない。
 - ④ ①から③に正解はない。
93. プレーヤーがパッティンググリーン上からストロークした球が旗竿に付き添っているそのプレーヤーのキャディーによって故意に方向を変えられた。その後でプレーヤーは球をあるがままにプレーした。この場合、正しいのはどれか。
- ① プレーヤーに罰はない。
 - ② プレーヤーは誤所からのプレーをしたことに対して罰を受ける。
 - ③ プレーヤーは合計で2罰打を受ける。
 - ④ ①から③に正解はない。
94. MLR E-12「フェアウェイマットの強制的な使用」が採用されていたので、第2打地点で球をフェアウェイマットにプレースしたが、球がそのマットの上に止まらなかった。この場合、正しいのはどれか。
- ① その球をリプレースしなければならない。
 - ② 2回目のプレースをしても球がそのマットの上に止まらない場合、ホールに近づかない球が止まる最も近いコース上にその球をプレースしなければならない。
 - ③ フェアウェイからパターでプレーする場合も、球をマットの上にプレースしなければならない。
 - ④ ①から③に正解はない。
95. 球Aが修理地と思われる区域に止まったが、救済を受けられるのか分からなかったので、2つの球をプレーすることにしたが、マーカーには何も告げなかった。プレーヤーは、まず球Bをドロップすることによって修理地からの罰なしの救済を受けた後、球Aをあるがままにプレーし、その後で球Bをプレーした。その後、プレーヤーは委員会に2つの球をプレーしたことを報告し、裁定を求めたところ、その区域は修理地であると裁定された。この場合、正しいのはどれか。
- ① このホールのスコアは球Aでのスコアとなる。
 - ② このホールのスコアは球Bでのスコアとなる。
 - ③ プレーヤーは失格となる。
 - ④ ①～③に正解はない。

96. 球がアウトオブバウンズの境界を定める白杭に寄りかかって止まっていた。球はインバウンズの球であったので、プレーヤーは罰なしに障害物からの救済を受けることができると考えて、その球を拾い上げ、その白杭からの障害がなくなる地点にその球をドロップしてプレーした。この場合、正しいのはどれか。

- ① プレーヤーは3罰打を受ける。
- ② プレーヤーは規則9.4に違反している。
- ③ プレーヤーは規則8に違反している。
- ④ ①～③に正解はない。

97. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① ティーマーカーを設置する場合、5～7歩離して設置することが推奨される。
- ② 1つの池をあるホールに対してはレッド、別のホールに対してはイエローというようにステータスを変えることはできない。
- ③ アンプレヤブルの救済に対してドロップゾーンを設定することはできない。
- ④ ①～③に正解はない。

98. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① LMR E-5はアウトオブバウンズとなった暫定球には適用できない。
- ② LMR F-15はパッティンググリーン上のキノコを取り除くことを認めている。
- ③ LMR E-11に基づいて球を再プレーすることを要求されているのに、球をあるがままにプレーした場合、誤所からのプレーとはならない。
- ④ ①～③に正解はない。

99. 次のうち、競技終了後に発覚した場合であっても、失格となるのはどれか。

- ① 参加資格がないことが競技終了後に知った。
- ② 1罰打を受けていたことを競技終了後に知った。
- ③ 不適合クラブを使用していたことを競技終了後に知った。
- ④ ①～③に正解はない。

100. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① 1組が4人でスタートする場合のスタート間隔は10分とすることが推奨される。
- ② ストロークプレーのプレーオフをマッチプレーで行うことができる。
- ③ コースの外周にはアウトオブバウンズを定めなければならない。
- ④ ①～③に正解はない。

正 解

1	②	21	②	41	④	61	④	81	①
2	③	22	①	42	①	62	①	82	②
3	④	23	②	43	④	63	②	83	④
4	③	24	②	44	②	64	②	84	④
5	④	25	②	45	③	65	③	85	①
6	③	26	②	46	④	66	③	86	③
7	④	27	②	47	②	67	④	87	③
8	③	28	②	48	③	68	④	88	③
9	②	29	②	49	④	69	④	89	②
10	④	30	①	50	④	70	②	90	②
11	④	31	①	51	②	71	③	91	②
12	③	32	②	52	④	72	③	92	④
13	①	33	①	53	④	73	④	93	③
14	④	34	①	54	④	74	③	94	④
15	③	35	①	55	④	75	④	95	①
16	②	36	①	56	④	76	④	96	②
17	④	37	①	57	④	77	④	97	①
18	②	38	②	58	④	78	④	98	③
19	④	39	①	59	④	79	②	99	④
20	②	40	②	60	②	80	③	100	④